

マテリアリティ特定のプロセス

DBJグループのマテリアリティは、「ビジョン2030」で描く将来像を実現させるための経営上の重要課題です。DBJグループが長年にわたり一貫して注力してきた「3つの重点領域（インフラ・産業・地域）」と、ステークホルダーの皆様との対話を通じて整理された社会課題やテーマを結節させながら、2023年に特定しています。今後も、ステークホルダーの皆様との対話 continué ながら、定期的にマテリアリティの見直しを行う予定です。

3つの重点領域についての理解深耕



インフラ

エネルギーシステムの再構築、
交通ネットワークの高度化、
魅力ある街づくり



産業

新技術の事業化、
生産性向上・競争力強化に
向けた事業再構築、
グローバル市場への事業展開



地域

地域特性に応じた産業振興、
海外展開、インバウンド対応、
事業承継

DBJグループがこれまで果たしてきた役割や機能、実現した社会価値等を踏まえ、これまで「インフラ」「産業」「地域」をDBJグループの重点領域としていました。今後、外部環境が変化していくなかでも、この3つの領域はDBJグループにとって重要であり続けることをマテリアリティを特定するなかで再認識しています。

ステークホルダーとの対話から課題項目を抽出

政府発表資料などを参照し、
対応が求められる社会課題

37 項目を選定

お客様の課題に関するDBJグループ内ヒアリングや日本政府の基本方針などを通じて社会課題37項目を選定したうえで、それらの社会課題に対し「ステークホルダーにとっての重要性」「DBJグループにとっての重要性」の2つの軸から分析を実施し、13項目を抽出しました。

ステークホルダーにとっての重要性

各部・各支店・グループ各社へのアンケート調査に加えて、複数回実施した職員ミーティング及び役員ミーティング、有識者とのディスカッションを通じて定量評価を行い、SASB*などのガイドラインもあわせて参照

DBJグループにとっての重要性

各種資本における重要度を定量評価

ステークホルダーとDBJグループ
の2軸評価により、重要性の高い

13 項目を抽出



* SASB : Sustainability Accounting Standards Board
(サステナビリティ会計基準審議会)

3つの課題



脱炭素



新事業創出



人口減少

共通テーマ



金融市場
リスクマネー

13項目をグループに分け、「脱炭素」「新事業創出」「人口減少」という3つの課題及び「金融市場・リスクマネー」という共通テーマを導出しました。

マテリアリティ(経営上の重要課題)

3つの重点領域と4つの課題テーマを結節



基盤面

金融フロンティアに挑戦する人材育成
リスクマネー供給に向けた経営基盤強化

長期的に取り組む「3つの重点領域」と、ステークホルダーとの対話から整理された4つの「課題テーマ」を結節させるとともに、それらを支える基盤としての取組を補足しました。



持続可能なインフラ形成



産業の技術革新及び再編成



潜在力を活かした地域創生



金融分野の市場創造とセーフティネット



金融フロンティアに挑戦する人材育成



リスクマネー供給に向けた経営基盤強化